

ゴールドマン・サックス

緊急子ども支援基金

コロナ禍で困難を抱える子どもと家族を

“心のケア”で支える

募集要領

応募締切：2020年9月14日（月）まで（必着）

公益財団法人パブリックリソース財団

※本プログラムは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い困難な状況にある子どもや家族の支援活動を行う非営利団体を対象とした緊急助成プログラムです。

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）蔓延防止対策の影響により、長期に渡る休校措置と自宅待機を余儀なくされました。休校措置が解除され、学校が再開されたものの、経済活動の停滞に伴い、生活苦や生活不安の高まりにより、強いストレスを感じながら生活しなければならない状況がうまれています。今後も感染症流行に伴う第2波、第3波の可能性も指摘されており、さらに失業や減収といった経済的な影響によって状況の深刻化が危惧されています。こうした長期間に渡る精神的不安にさらされることで、虐待やDV等のリスクの高まり、不登校児の増加、自殺願望やうつ等の精神疾患を抱えるリスクが高まっています。

こうした目に見えにくい社会課題に対し、特に、精神的不安を抱え込みやすい、経済的困難、虐待やDV等のリスク、不登校や発達障害、外国にルーツを持つ子どもといった複合的な困難を抱える子どもやその家族への“心のケア”に焦点をあてて支援することを目的とした助成を行います。

1、本プログラムの目的

- 経済的困難、虐待やDV等のリスク、不登校児、様々な障がいを抱えている子ども、外国にルーツを持つ子どもといった複合的な困難を抱える子どもやその家庭を対象に、**心のケアの充実**を支援することを目的とする。

助成支援対象事業の例：

- ・児童養護施設や自立支援施設で暮らす子どもたちへの SNS や Line 等を活用したオンラインによる心のケア相談
- ・DV・虐待の被害者を安全に保護するための緊急一時避難施設（シェルター）の拡充を図り、精神ケアの専門家と連携しながら施設での相談・心のケアを提供する事業
- ・発達障害による不安や学習の遅れといった理由から不登校となっている子ども達を対象に生活習慣の安定、学習の遅れの防止、精神的な不安等の軽減を目的とした家庭訪問やオンラインによる相談の他、その保護者に対するオンライン、メール、電話による相談支援を行う事業
- ・困窮家庭に対する食料や物資配付、家事・育児支援などを通じてアウトリーチを行い、定期的な家庭訪問につなげて心の交流を図りながら、行政や他の支援につなげるいく事業

2、支援の内容

- 1件あたり上限300万円（原則として）
- 助成金の用途は、申請する事業活動に伴う事業費、人件費、事業遂行にあたってかかるその他の経費

例：

- ・人件費
- ・交通費
- ・会議費
- ・食糧や物資調達等にかかる費用

- ・オンライン対応のための経費
- ・新型コロナウイルス感染予防に伴う施設修繕費
- ・業務委託費
- ・謝金（心のケアの専門家等へのアドバイス料等）

等

※**公的資金が充てられる費用は対象外です。**

- 支援団体数：17 団体程度（全国）
- 支援対象事業期間：助成決定時から 2021 年 3 月末まで

3、基金の支援対象

- NPO 法人、一般社団法人、社会福祉法人、公益法人などの非営利組織

※国、地方自治体、宗教法人、個人、営利を目的とした株式会社・有限会社、趣旨や活動が政治・宗教・思想・営利などの目的に偏る団体は除きます。

※任意団体も申請可

- 困難を抱える子どもと家族に対する支援に取り組む活動実績がある
- 団体として活動を開始してから 3 年以上ないし 2 会計年度以上
- 困難を抱える子どもと家族に対する支援に取り組んでいる団体で、コロナ禍に対応する“心のケア”に取り組む団体

4、選考方法

- 書面による審査
 - ・第三者の専門家による審査委員会を設置し、書面による審査を行います。
 - ・選考の結果の通知は、全応募団体に E メールにて選考結果を通知するとともに、決定団体はパブリックリソース財団の WEB サイトで公表します。

5、選考基準

- 困難を抱える子どもと家族に対する支援に取り組んだ活動実績があるか
- コロナ禍により増大する精神不安を軽減し生きる力と日常生活を取り戻すことにつながる、心のケアを主軸とした事業内容であるか
- 困難を抱える子どもやその家族に確実に繋がり支援が届く事業内容になっているか
- 心のケアの専門家からのアドバイスや連携がとられているか
- 事業が適切に計画されているか
- 組織全体は適切に経営されているか

6、応募手続き

- 応募期間

2020 年 8 月 31 日（月）～2020 年 9 月 14 日（月）**17 時まで**

※9月14日（月）17時以降は入力できなくなりますので、時間厳守をお願いします。

※問い合わせフォームからの応募に関する問い合わせは、9月13日（日）正午までの受付となります。それ以降のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

● 応募について

ゴールドマン・サックス緊急子ども支援基金プロジェクト特設ウェブサイトからの応募
同特設ウェブサイト内の応募ページに入力してください。

サイト URL : <https://www.info.public.or.jp/gs-kodomo2>

● 応募方法

上記特設ウェブサイト内の応募ページ「応募用フォーム」から応募内容の登録をしてください。

※郵送やメールでの応募は受付対象外となります。必ず応募ページ（上記）からご応募ください。

● 提出書類

➤ 定款

➤ 直近年度の事業報告書・決算書類

※2019年度のものがないければ、2018年度のもので構いません。

➤ その他、必要に応じて説明資料を添付いただくことができます。（10MBまで）この場合、説明資料はA4版（片面）3ページ以内にまとめてください。3ページを超える場合は、審査会にて使用する説明資料を事務局にて精査します。必要なことは極力応募フォームにご記入ください。

● 問い合わせ先

応募に関してのお問い合わせは、ゴールドマン・サックス緊急子ども支援基金特設ウェブサイト内の問い合わせフォームからお問い合わせください。

※個人情報の取り扱いについてはパブリックリソース財団の個人情報保護方針
(<http://www.public.or.jp/PRF/privacy/>) をご覧ください。

7、スケジュール

2020年

8月31日（月）～9月14日（月） 公募

9月15日（火）～10月9日（金） 審査（書面による審査）

10月12日（月）以降 採択結果通知

10月26日（月）以降 順次、助成金振り込み

※活動終了後1か月以内に終了報告書をご提出頂きます。

※上記スケジュールに変更が生じる場合があります。

8、手続き等

- 助成決定後、応募団体とパブリックリソース財団は「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成を開始します。
- 助成金は、上記の助成手続き完了後に振り込みます。
- 活動終了後1か月以内に終了報告書（財団指定フォーマット）をご提出頂きます。
- 助成開始後に組織概要や終了報告書などから得られる情報を含む活動状況等をパブリックリソース財団のWEBサイト等にて公開します。
- 助成開始後、当基金事務局より、必要に応じて現場訪問や電話等でのヒアリング・モニタリングをさせていただくことがありますので、ご協力ください。

以上